

全国市議会議長会から 5人が永年在職議員表彰

6月9日、6月定例会の初日、永年在職議員として全国市議会議長会から表彰を受けられた5議員に、本会議場において表彰状の伝達が行われました。

各議員はそれぞれ15年・10年の永きにわたり市政発展のために尽くされ、その功績が認められたものです。今後も、一層の活躍が期待されます。



10年表彰
高橋 敬議員



15年表彰
入内島 英明議員



10年表彰
中澤 広行議員



15年表彰
加藤 幸子議員



10年表彰
山崎 雄平議員



4月16日～18日に兵庫県三田市の市街地再開発事業、高砂市の地区景観ガイドラインについて行政視察を行った。

三田市は人口11万4483人で多機能複合都市として発展している。都市再開発法に基づき市街地再開発事業、三田駅前再開発事業

月日 4月16日～4月18日
場所 兵庫県三田市 高砂市
内容 市街地再開発事業(三田市)
高砂地区景観ガイドライン(高砂市)

建設水道常任委員会行政視察報告

を計画して、駅前を玄関口としてふさわしい街路・広場・環境整備を行い、地域経済への多大な波及効果や総合的な成長を創出した。

高砂市は人口9万3935人で大正から昭和にかけて大工場が進出し、播磨臨海工業都市の中核をなしている。明治以降近代化の波の中で周辺に工場が立地し、住宅地が形成され町並みは変化してきた。歴史的景観地区・住宅街景観地区・まちなか景観地区の3つに区分し、新築や増改築を進めてきた。年間140万人の観光客を期待する伊香保には高砂市の景観事業を。上信自動車道等が整備され飛躍が期待できる渋川市の街づくり、三田市の市街地再開発計画が参考になると感じた。